

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

神戸市長 久元 喜造

市町村名 (市町村コード)	神戸市 (28100)	
地域名 (地域内農業集落名)	神出地区 (勝成集落)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年10月23日 (第1回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。  
 注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

- ・ 現在、勝成地区では、主食用水稲のほか、家庭用の野菜栽培などの近郊農業が行われている。多くの農地は新規就農者などの農業の担い手が引き受けているが、後継者が不在の農地もあり、新たな農地の受け手を確保する必要がある。
- ・ 水路やパイプラインが古くなってきており、持続的な農業を目指す上で定期的な修繕や管理などが必要であるが、小さい集落のため限界がきている。
- ・ 農地面積が小さく形もいびつなこともあり、作業効率が悪く水稲や通常の野菜だけでは収益が見込めない。
- ・ 集落としては小さく人数も少ないため、隣接している集落と協働で将来を考える必要がある。
- ・ 集落内の人口減少も顕著になってきており、インフラ管理をはじめとする共同作業ができなくなってきた。
- ・ 農業の収入では新しい農業機械を購入することも既存の機械の修理もできない。そのため、機械が壊れたら農業をやめないといけない。また、燃料や肥料などの資材費が近年特に高騰しており農業を継続することは困難になってきている。
- ・ 小さい集落のため人数も少なく、機械や資材の高騰、労働時間や労働環境から考えて、子供が今後農業の担い手となる可能性はかなり低く、今後の農地の管理に不安がある。
- ・ イノシシやアライグマの被害が大きくなってきているが、電気柵などを設けるにあたり資金面をはじめ補助金の申請方法と電柵の設置時期に課題がある。
- ・ 農地管理の面においては、水稲作付を行うと手間が少なく効率的である。しかし、新規就農者はハウスでの野菜栽培を行う方が多い傾向にあるので、面的に広く農地を管理するとなると難しい。

(2) 地域における農業の将来の在り方

- ・ 水稲を主要作物としつつ、高収益野菜として豆類(大豆、枝豆)やソバなどの生産を行いつつ、新規就農者や農業法人を募っていく。
- ・ ドローン等による農業機械のIT化を取り入れ、スマート農業を段階的に開始する。
- ・ ソバの減農薬栽培やヘアリーベッチの作付方法を確立する。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	11.2 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	11.2 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

原則、市街化調整区域の農地を農業上の利用が行われる区域とする。ただし、山際等の小規模で生産性が低い農地や既に非農地化している農地等においてはその限りではない。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
・「農業を担う者」を中心に、農地の集積や集約化を検討する。
(2)農地中間管理機構の活用方針
・「農業を担う者」のいない農地等については、農地バンクへの貸付けを進め、「農業を担う者」による農地利用を検討する。
(3)基盤整備事業への取組方針
・多面的機能支払交付金の活用により修繕・整備を引き続き図っていく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
・隣接している集落と協働で進めていく必要があり、近隣の営農組織と連携を強化しながら担い手を増やしていく。 ・農地の大区画化を目指しと同時に機械の大型化も検討する。 ・共同作業や地域のルール、作業委託・受託、農地の貸し借りといった地区内の情報を共有できる仕組みを検討する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
・効率化が期待できる作業などは、集落内のオペレーターに部分的な委託をすすめる。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他
【選択した上記の取組方針】				
・多面的活動を通じて、水路、ため池の保全や遊休農地の有効活用を地域で一体的に取り組む。				